

## ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課



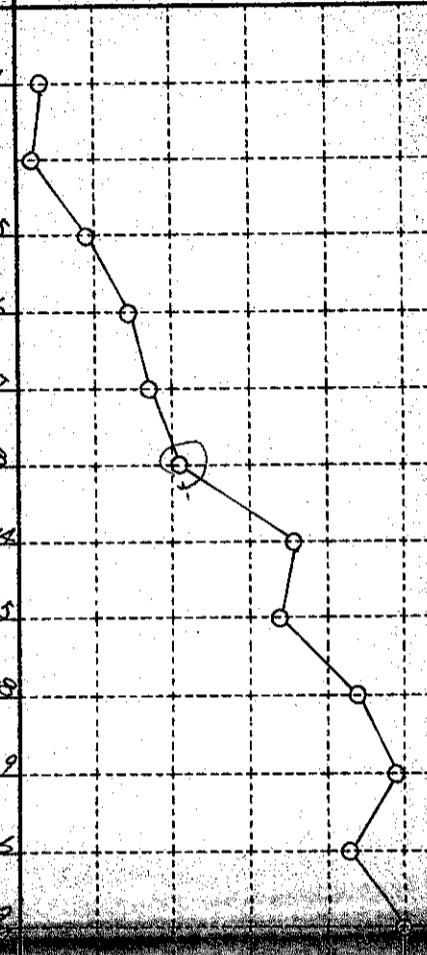
# 地質柱状図

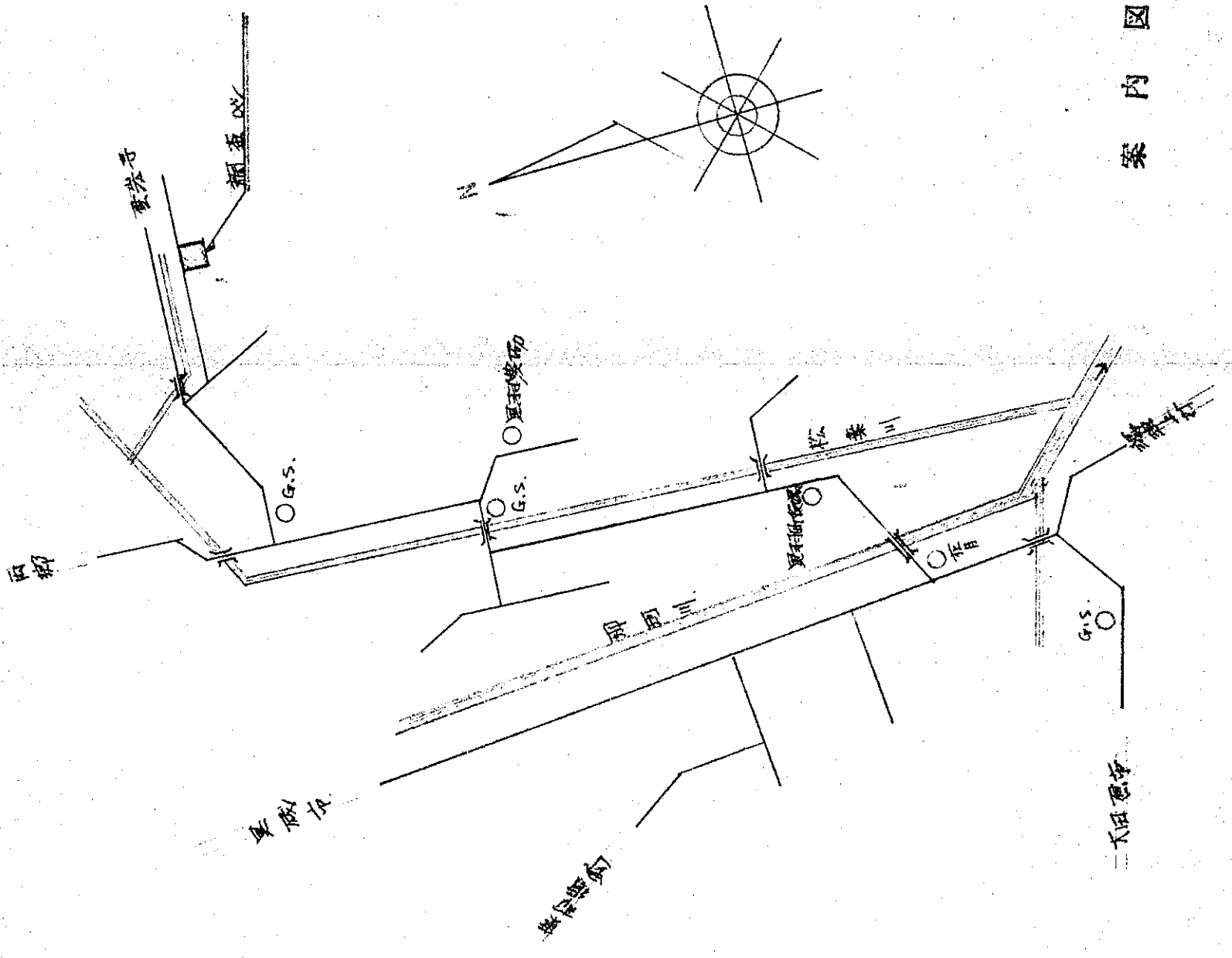
(注) 1. 乱さない試料 (記号の右の数字は試料番号)  
 T-1 シンウォールサンプラーによる採取  
 D-2 デニソンサンプラーによる採取  
 S-3 スチールサンプラーによる採取  
 2. 試料採取深度と回収比  
 4.00 45/50は回収比  
 4.50

工事地質調査  
 孔番 No. 2 標高  
 (基準面)  
 自然孔内水位 -4.60 m (12月4日測定)  
 調査員 柳根月2日~12月3日

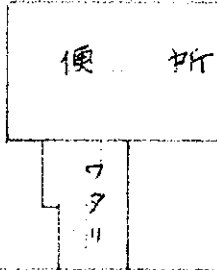
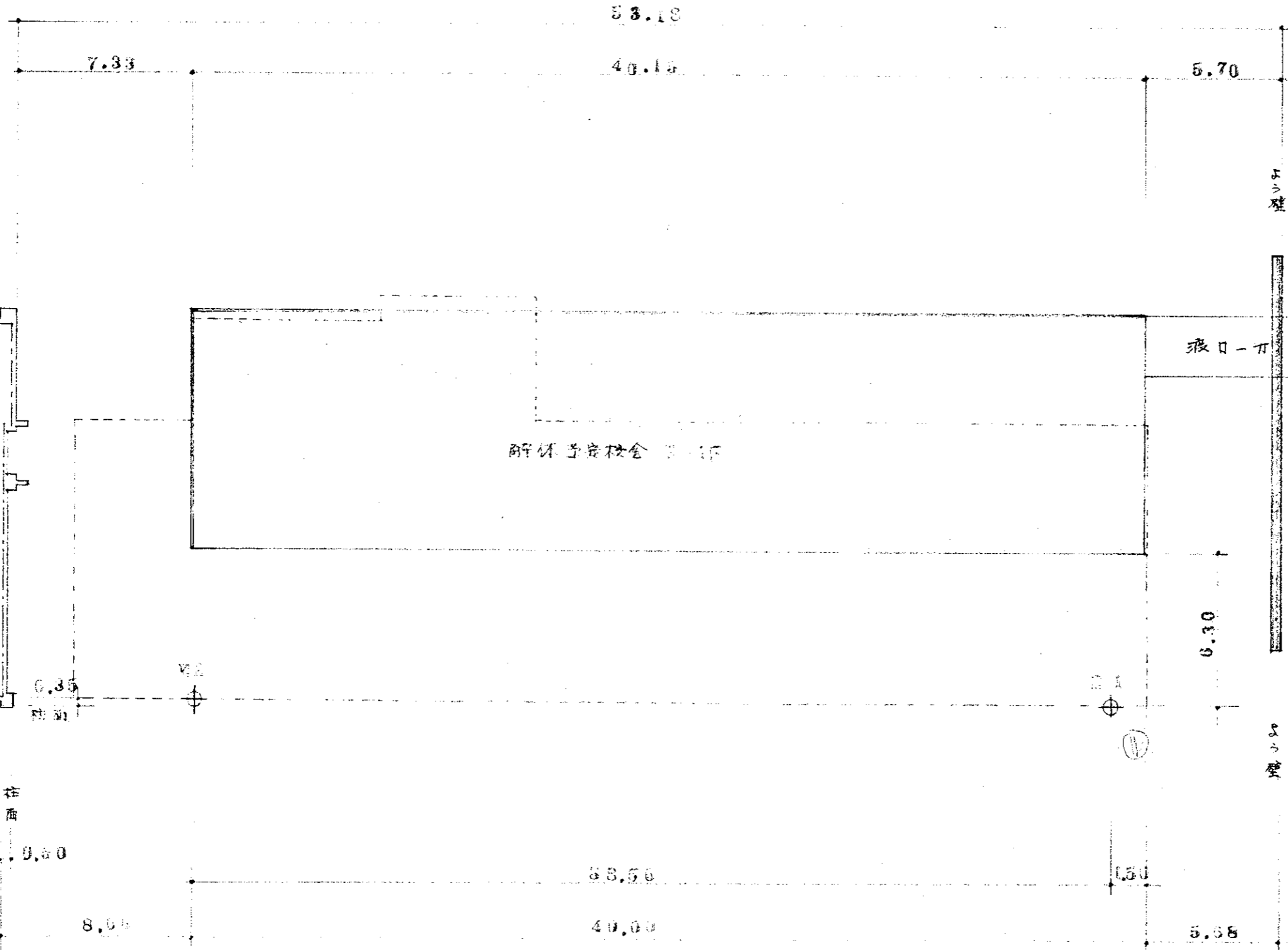
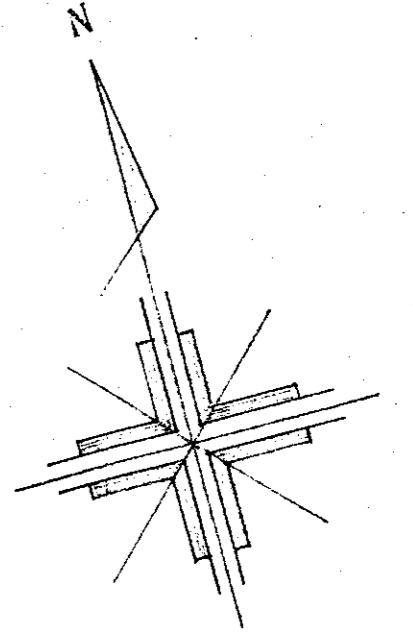
調査件名  
図記号

深 度 m	調査 m	地 質 名	色 調	観 察	相 対 密 度	相 対 稠 度	標 本 資 料 No.	試料		標準貫入試験									
								採取 記号	採取 深度 m	深 度 m	N 値 回/30cm	10cm毎の 打撃回数			N 値 回/30cm				
												10 cm	20 cm	30 cm	10	20	30	40	50
0	0.40	表土		五石混入															
1							①			1.30	3/30	1	1	1					
2	2.50	凝灰質粘土		茶褐色中に		軟弱	②			2.30	5/30	2	3	5					
3							③			3.30	7/30	1	3	5					
4						硬	④			4.30	13/30	2	4	6					
5							⑤			5.30	7/30	5	5	7					
6	5.30	凝灰質粘土		黄灰色 砂礫混入		軟弱	⑥			6.30	2/30	5	7	9					
7							⑦			7.30	8/30	9	10	14					
8							⑧			8.30	8/30	9	11	15					
9							⑨			9.30	4/30	11	15	18					
10							⑩			10.30	4/30	13	17	19					
11							⑪			11.30	4/30	13	14	16					
12						硬	⑫			12.30	8/30	15	25	29					
13							⑬			13.30	8/30	15	16	19					
14							⑭			14.30	8/30	15	21	13					
15							⑮			15.30	8/30	19	01						
16	16.10	砂		砂礫混入		極密	⑯			16.30	50/30	30	20						
17																			
18																			
19																			
20																			





案内図



管理棟  
RC-3F

解体予定校舎 3-1F

校舎 W-2F

よう壁

液口-11

在面

よう壁